

エコウッド富山

足踏消毒スタンドを開発

県産材活用しコロナ対策



県産材で開発した足踏式消毒液スタンド

（小矢部市）久米澤 尚美社長は、富山県産材を用いた「足踏式消毒液スタンド」を開発し、販売を開始した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出先でもこまめに手を消毒することが求めら

れ、玄関などに消毒液を設置するオフィスや公共施設、店舗が増えている。感染防止に地元の企業として貢献でき

ないか検討した結果、県産材を生かした木製品開発の技術・ノウハウを生かし、若手社員の手導で新しい生活習慣にマッチした製品を開発・製作した。

星元のペダルを踏むことで消毒液のポンプが押され、吐出・噴射する仕組みで、ポンプ部に直接手を触れることなく衛生的に手指を消毒できる。市販の消毒液ボトルを種類やサイズに関わらず、そのままセット可能。エン

トランスでの設置に配慮したデザイン性を保ちつつ、しっかりとし

た構造を確保。木の温もりや香りを感じられるのが大きな特徴となっている。

生産は一品ずつの手づくりで、外形寸法などオーダーメイドにも対応。希望小売価格は3万4800円（税別）。当面はコロナ対策応援価格として2万9800円（税別）で提供する。

同社は、県内唯一となる屋外製品専用の加圧式木材防霉処理プラントを持ち、土木・公園資材、サイン類、エクステリア、住宅建材などの木製品を幅広く取り扱う。県産材のさらなる有効活用、需要拡大を図ることも、自社の強みを生かした創意工夫で社会貢献に努めている。

問い合わせは、同社（電話0766-61-4988）まで。